

ガザ救援・パレスチナ解放闘争の 現代的な意義(映画と講演)

ガザ平和祭・子どもたちの笑顔忘れない

ガザの記憶 笑顔 消させない「抵抗」がこの映画にある！そして、イスラエルと米国のガザ・ジェノサイドを糾弾し、パレスチナの自由と独立、平和を希求する。反戦運動を通じてガザと連帯。高市政権の軍拡、戦争準備反対！

日 時：2月21日（土）午後1時30分 （1時15分開場）

場 所：文京シビックセンター 区民会議室5C 地下鉄後楽園駅徒歩1分

資料代：1,000円（学生500円）

【映画概要】

1. 2001 パレスチナの夏（62分）

西暦2000年にイスラエル首相シャロンのアル・アクサモスクへの武装侵入に端を発した第2次インティファダで、この占領下のパレスチナの現実を日本人たちに知らせてくれの声に押され、2001年の夏1ヶ月にわたり、3大激突地、ハニューニスのトッファーハゲート、ラファのサラハエッディーン通り、ヘブロンのだッボーヤ街の闘争現場を回り、さらに北部のジェニンの自爆攻撃に湧く村落を記録した。

2. 2002 ガザ平和祭（45分）

2002年8月6日～20日 ヒロシマ・ナガサキデーを「子供の平和祭」として ガザ市、ハニューニス市、ベート・ラーヒア市で開催、参加した子どもたちに鶴の折り方を教える。完成した折り鶴を掲げて笑顔を見せる子どもたち。

ガザ・パレスチナの文化を守り伝えることも重要な闘い。戦車を先頭に深夜たびたびイスラエル兵が侵入してくる2002年夏、ウードの音に聞き入り、刻を忘れる。

【講師】 田中博一さん(ビデオ撮影者、アラブ未来協会、岐阜市在住)

九州大学農学部中退、1990年岐阜市でガザ出身の青年と邂逅、アラブ人のための日本語辞書作成、アラビア語の辞典・文法書の著者。1998～2002年の毎年8月をガザに滞在、2003年～2009年西海岸地区で同様に滞在・活動。2009年パレスチナ占領地出国時にパレスチナ再訪不可をイスラエル諜報機関より告げられ、以後、国内でパレスチナ支援活動を行っている。1950年生まれ



主催：メディアネット ちきゅう座（代表 合澤清）

問合せ先： chikyuzanet@shintoshin.nir.jp